

「福岡マラソン2019」の開催に向けて

市長短信
令和元年10月25日

1 糸島市でフィニッシュするランナーを迎えるために

■福岡市から糸島市へ。約12,000人のランナーが駆け抜ける。

➤第6回目となり安定した大会に成長

→今年は、合計14,020人の枠に対し、40,791人の申込み（約2.91倍）
海外を含む多くの地域からの応募がある人気の高い大会となった。

➤今年の新たな取組

- ・障がい者チャレンジ応援プロジェクト
- ・ぐるみ企画（チーム戦など）
- ・海外向けツーリズム枠の創設
- ・ナンバーカードに「糸島市制施行10周年記念」のロゴデザイン

■糸島のおもてなし

➤「福岡マラソン糸島協力会」を中心としたボランティア活動

- ・花いっぱい事業（プランター、花壇など沿道や会場を花で飾る）
- ・沿道声援（横断幕、パネル、のぼり旗等による応援）
- ・地域ボランティア、中学校生徒によるコース周辺の清掃
- ・総合応援事業（応援のぼり旗を設置、応援バスの運行など）

➤フィニッシュ会場のおもてなし

- ・41団体が会場で、食の無料提供や販売等を行い糸島をPR
- ・ランナーのボディケアや温浴施設までの送迎、物販など、協賛スポンサー等によるおもてなし



↑ 沿道を飾る花
→ランナーを支える
声援やのぼり旗



↑ 市制施行記念ロゴをデザイン

【特徴的な提供品】

糸島カキの試食 (1500個)	JF糸島
糸島牛、豚の焼肉の試食 (40kg)	JA糸島 生産部会協議会
ジビエスープ (1000食)	浮嶽くじらおもてなし隊
ランナーへのみかん提供 (800kg)	JA糸島 生産部会協議会園芸部
ランナーへのガーベラプレゼント (1100本)	JA糸島 生産部会協議会園芸部

2 令和元年度 自治功労者等表彰式

■自治やスポーツ振興に貢献された方を表彰

➤表彰を受けられる皆様（敬省略）

【自治功労者（7名）】

お名前	功績等
三嶋 俊蔵	糸島市議会議員として、市政の発展に寄与
吉村 シゲ子	民生委員・児童委員として、社会福祉の増進に寄与
椎葉 賢一	消防団員及び消防委員として、安全安心のまちづくりに寄与 市民まつり実行委員長として、地域振興に寄与
浦山 牧夫	防災協会理事として、地域防災の発展に寄与
濱地 信博	防災協会会長及び理事として、地域防災の発展に寄与
波多江 俊子	糸島薬剤師会の会長・役員並びに学校薬剤師として、市民の健康増進に寄与
明吉 昭代	糸島手話の会会長・役員として、聴覚障害者の社会福祉向上に寄与

【スポーツ功労者（3名）】

お名前	功績等
瀬戸 勇次郎	「第33回全日本視覚障害者柔道大会」、「東京国際視覚障害者柔道選手権大会2019」などにおいて日本一の成績を収める。
浦 明澄	「全日本ジュニア柔道選手権大会」などにおいて日本一に。「世界ジュニア柔道選手権大会2018」で世界第3位の成績を収める。
高橋 丈喜	競技綱引団体「糸島かみなり女」の監督として、また、福岡県綱引連盟副理事長、九州綱引連盟理事として競技綱引の発展に寄与

【令和元年度自治功労者等表彰式】

- 日時 令和元年11月3日（日・祝） 10時から
- 場所 伊都文化会館 大ホール
- 内容 自治功労者・スポーツ功労者への表彰

【アトラクション】

■福井神楽（演目：先駆神主）

明治20年、白山神社に筑前（田島郷）から神楽師を招いて始め、他の芸能や別系統の神楽の要素を多く取りこんだといわれる。

現在は、地元福井区で発足した「福井神楽保存会」の皆様の手で伝統が守られている。



【記念品】

■黄唐津しのぎ花入れ（高麗窯）

唐津焼の伝統を大切にしながら器を作り続ける高麗窯の作品。

「黄唐津と呼ばれ、木灰釉をかけて、しのぎ模様をあしらひ、仕上げました。色の濃淡が独特の味わい深さを生み、表彰を受けられる皆様の記念となるよう、心を込めて制作させていただきました。」

（高麗窯 古家氏より）

